

2009年8月期業績 及び2010年8月期業績見通し

徳永 敏久

株式会社ファーストリテイリング
経営管理部長

1

徳永です。

私からは、2009年8月期業績、及び
2010年8月期業績見通しについてご説明を致します。

I. 2009年8月期決算概要	P3	~	P15
II. 2010年8月期業績予想	P16	~	P23
III. ご参考資料	P24	~	P26

【資料文中のグループ事業の表示について】

各グループ事業の構成は、以下のとおりです。

国内ユニクロ事業：株式会社ユニクロの数値が表示されています。

海外ユニクロ事業：中国、香港、韓国、シンガポール、英国、米国、フランス、ロシアにおけるユニクロ事業が含まれています。

国内関連事業：国内を中心に展開しているアパレル小売事業(ユニクロ事業除く)のことです。

GOVリテイリング、キャビンが含まれています。

グローバルブランド事業：グローバルに展開中、もしくは展開する可能性のあるブランド事業(ユニクロ事業除く)です。

コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、セオリー事業が含まれています。

【将来予測に関するご注意】

本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要・価格競争に対する対応、為替などの変動により、この業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】 2009年8月期実績

売上高 : 6,850億円 (前期比 +16.8%)
営業利益 : 1,086億円 (前期比 +24.2%)
経常利益 : 1,013億円 (前期比 +18.2%)

	2008年8月期		2009年8月期		
	通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	5,864 100.0%	6,820 100.0%	6,850 100.0%	+16.8%	+0.4%
売上総利益 (売上比)	2,936 50.1%	3,400 49.9%	3,415 49.9%	+16.3% ▲0.2p	+0.4% +0.0p
販管費 (売上比)	2,061 35.2%	2,320 34.0%	2,328 34.0%	+12.9% ▲1.2p	+0.4% +0.0p
営業利益 (売上比)	874 14.9%	1,080 15.8%	1,086 15.9%	+24.2% +1.0p	+0.6% +0.1p
経常利益 (売上比)	856 14.6%	1,010 14.8%	1,013 14.8%	+18.2% +0.2p	+0.3% +0.0p
特別損益 (売上比)	▲37 ▲0.6%	▲45 ▲0.7%	▲58 ▲0.8%	- ▲0.2p	- ▲0.1p
当期純利益 (売上比)	435 7.4%	520 7.6%	497 7.3%	+14.4% ▲0.1p	▲4.2% ▲0.3p

単位: 億円

※ のれん償却額 2009年8月期実績 64億円 2008年8月期実績 53億円

3

まず、2009年8月期の連結業績についてご説明します。

通期では売上高は6,850億円、前期比16.8%増、
 営業利益は1,086億円、前期比24.2%増、
 経常利益は1,013億円、前期比18.2%増と
 増収増益を達成致しました。

次のスライドでその要因をご説明します。

【連結】2009年8月期増収増益の要因

売上高 6,850億円 (前期比 +16.8%)

- 国内ユニクロ事業 +758億円
- 海外ユニクロ事業 +84億円
- 国内関連事業 +20億円
- グローバルブランド事業 +118億円

売上高総利益率 49.9% (前期比 ▲0.2p)

売上高販管費率 34.0% (前期比 ▲1.2p)

- 国内ユニクロ事業での改善 ▲2.2p

営業利益率 15.9% (前期比 +1.0p)

経常利益率 14.8% (前期比 +0.2p)

- 円高による為替差損の発生▲57億円
- 持分法投資損失▲13億円

4

まず売上高ですが、6,850億円、前期比985億円増、16.8%の増収でした。

主な増収の要因は、好調な国内ユニクロ事業が758億円の増収になったことです。これに加え、海外ユニクロ事業が84億円の増収、国内関連事業はジーユー事業の増収などにより、20億円の増収となりました。

また、グローバルブランド事業では下期からリンク・セオリー・ホールディングスを連結子会社化したことなどから、118億円の増収となっております。

売上高総利益率は、前期比0.2ポイント低下いたしました。

販管費は、前期比で266億円増えておりますが、販管費率は1.2ポイント改善しております。これは、売上が好調であった国内ユニクロ事業において販管費率が2.2ポイント改善したことが主な要因です。

これらの結果、営業利益は1,086億円、前期比24.2%の増益となり、営業利益率は15.9%と前期比で1.0ポイント改善いたしました。

なお、経常利益につきましては、1,013億円、前期比18.2%増、経常利益率は14.8%と、前期比で0.2ポイントの改善にとどまっております。

これは、海外子会社向け貸付金にかかる評価差損などで為替差損が57億円発生したこと、上期に計上したリンク・セオリー・ホールディングスに関連する持分法投資損失13億円によります。

2009年8月期 グループ事業別実績

単位：億円

		2008年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
国内ユニクロ事業	売上高	4,623	5,380	5,381	+16.4%	+0.0%
	営業損益	864	1,120	1,107	+28.2%	▲1.1%
	(売上比)	18.7%	20.8%	20.6%	+1.9p	▲0.2p
海外ユニクロ事業	売上高	293	370	377	+28.8%	+2.1%
	営業損益	3	15	16	+350.0%	+8.0%
	(売上比)	1.2%	4.1%	4.3%	+3.1p	+0.2p
国内関連事業	売上高	494	510	515	+4.2%	+1.0%
	営業損益	▲28	▲15	▲5	-	-
	(売上比)	-	-	-	-	-
グローバルブランド事業	売上高	437	530	555	+27.0%	+4.9%
	営業損益	77	26	36	▲52.8%	+41.0%
	(売上比)	17.7%	4.9%	6.6%	▲11.1p	+1.7p

※ 主な適用為替レート

2009年8月期(12ヶ月平均) 1USD= 96.06円 1EUR=130.24円 1GBP=150.04円 1RMB=14.42円 100KRW= 7.31円

2008年8月期(12ヶ月平均) 1USD=108.31円 1EUR=163.07円 1GBP=215.63円 1RMB=15.14円 100KRW=11.13円

5

こちらのスライドでは、各グループ事業別の売上高、営業利益を示しております。

業績はほぼ計画通り、大幅増益達成

単位: 億円

	2008年8月期		2009年8月期		
	通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	直近予想比
売上高 (売上比)	4,623 100.0%	5,380 100.0%	5,381 100.0%	+16.4%	+0.0%
売上総利益 (売上比)	2,241 48.5%	2,595 48.2%	2,590 48.1%	+15.6% (▲0.4p)	▲0.2% (▲0.1p)
販管費 (売上比)	1,376 29.8%	1,475 27.4%	1,482 27.6%	+7.7% (▲2.2p)	+0.5% (+0.2p)
営業利益 (売上比)	864 18.7%	1,120 20.8%	1,107 20.6%	+28.2% (+1.9p)	▲1.1% (▲0.2p)

6

まず、国内ユニクロ事業の実績について、詳しくご説明いたします。

2009年8月期の国内ユニクロ事業の売上高は5,381億円、前期比16.4%増、営業利益は1,107億円、前期比28.2%増とほぼ計画通りの業績となり、大幅な増収増益を達成致しました。

項目ごとの説明は次のスライドでさせていただきます。

09年8月期 売上高 5,381億円 (前期比 +16.4%)

- 既存店売上高 +11.3% (客数 +9.6%、客単価 +1.6%)
客数増の背景 ⇒ ヒートテック、プラトップなどヒット商品による集客効果
キャンペーン増による集客効果
ウイメンズ商品の強化
- ユニクロ直営店 前期末比 10店舗増 (2009年8月末 750店舗※)
大型店は前期末比21店舗増加し、71店舗まで拡大

前年比増減率	2009年8月期			2009年 9月	
	上期	下期	通期		
既存店計	売上高	+12.9%	+9.3%	+11.3%	+31.6%
	客数	+9.2%	+10.0%	+9.6%	+22.8%
	客単価	+3.4%	▲0.6%	+1.6%	+7.2%

※ FC店 20店舗を除く

7

売上高ですが、通期で16.4%の増収となりました。

この内訳は既存店売上高が前期比で11.3%と大幅増となったこと、
直営の店舗数が前期比で10店舗増加したことによります。

既存店売上高11.3%増収の内訳としては、客数が9.6%増、
客単価が1.6%の増となっております。

客数増の主な要因としては、上期においてはヒートテック、
下期ではプラトップなどのヒット商品が集客に寄与いたしました。
また、昨年に比べて販促を強め、キャンペーンの回数を増やしたことも
集客につながっております。

従来から進めておりますウイメンズ商品の強化も集客に寄与いたしました。

出退店は、55店舗の出店、45店舗の閉店により10店舗の純増となり、
期末の直営店舗数は750店舗となっております。

なお、2009年8月期の大型店の出店は21店舗で、大型店は期末で71店舗
まで拡大してきております。

09年8月期 売上高総利益率 48.1% (前期比 ▲0.4p)

- (上期)ヒートテックの販売好調などにより粗利率改善
- (下期)販促活動を強めたことから粗利率低下

	2008年8月期	2009年8月期	
			前期比
通期	48.5%	48.1%	▲0.4p
上期	47.6%	48.5%	+0.9p
下期	49.5%	47.7%	▲1.8p

8

次に売上高総利益率ですが、前期比で0.4ポイント低下しました。

上期は、秋物処分が一時的に粗利益率に影響を与えたものの、ヒートテックの販売が好調だったことなどが寄与し、売上高総利益率が改善いたしました。

下期は、キャンペーンを増やしたことからキャンペーン対象商品の範囲が拡大し、前期に比べて粗利益率が低下いたしました。

なお、第4四半期には昨年に比べて夏物処分を早めたことにより、計画よりも粗利益率が若干低下しております。

【国内ユニクロ事業】販管費

09年8月期 売上高販管費率 27.6% (前期比▲2.2p)

- 人件費率 ▲1.2ポイント：売上好調により効率向上
- 賃借料率 ▲0.5ポイント：固定家賃店舗の効率向上

単位：億円

	2008年8月期		2009年8月期		増減額	
	実績	(売上比)	実績	(売上比)		(売上比)
販管費	1,376	29.8%	1,482	27.6%	+105	▲2.2p
内 人件費	498	10.8%	518	9.6%	+20	▲1.2p
内 広告宣伝費	213	4.6%	239	4.5%	+26	▲0.1p
内 賃借料	366	7.9%	400	7.4%	+34	▲0.5p
内 減価償却費	26	0.6%	30	0.6%	+4	+0.0p
内 その他	272	5.9%	293	5.4%	+20	▲0.5p

9

国内ユニクロ事業の販管費は1,482億円、前期比で105億円増とほぼ計画通りの水準で推移いたしました。一方で、売上が期初計画から大幅に上ぶれたことから、売上高販管費率は前年に比べて2.2ポイントと大きく効率が向上いたしました。

売上高に対する人件費比率は、1.2ポイント減となりました。これは主に、売上好調だったことにより、効率が向上したことによるものです。

賃借料率は0.5ポイント改善しています。

これは、店舗数の6割を占めるロードサイド店舗の家賃の大半は固定家賃であり、売上好調だったことから効率が向上したことによります。

アジア中心に計画通り事業が拡大

- **アジア 順調に拡大**(店舗数 08/8末 39店舗 ⇒ 09/8末 76店舗)
 - 中国・香港 店舗数倍増、ユニクロの知名度アップにより既存店売上が好調
 - 韓国 業績は順調に拡大、為替の影響で円ベース利益はほぼ前年並み
 - シンガポール 新規出店、計画を上回り好調な売上を達成
- **欧米 英国の赤字幅縮小**(店舗数 08/8末 15店舗 ⇒ 09/8末 16店舗)
 - 英国 ブランド認知度向上により既存店売上が好調、赤字幅大幅は縮小
 - 米国 NYグローバル旗艦店好調、営業黒字を達成
 - フランス パリ グローバル旗艦店の出店準備コストで赤字

単位: 億円

		2008年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
海外ユニクロ事業	売上高	293	370	377	+28.8%	+2.1%
	営業損益 (売上比)	3 1.2%	15 4.1%	16 4.3%	+350.0% +3.1p	+8.0% +0.2p

10

次に海外ユニクロ事業ですが、売上高は377億円、営業利益は16億円と、ほぼ計画通り事業が拡大しております。

アジア地区では中国においては店舗数が倍増となり33店舗となりました。ユニクロの知名度がアップしたことに伴い、既存店売上は好調に推移し増益となりました。韓国の業績はウォンベースでは大幅に増収増益となっておりますが、為替の影響により、円ベースでの利益はほぼ前年並みとなっております。

シンガポール市場では4月に1号店、8月に2号店をオープンし、予想を上回る好調な売上が続いております。

英国ではブランド認知度が向上したことにより、既存店売上が好調で、赤字幅は大幅に縮小しております。

米国はニューヨークグローバル旗艦店が好調で、営業黒字を達成いたしました。

フランスではパリ グローバル旗艦店の出店準備コストが発生していることから、赤字となっております。

ジーユー事業が好調、採算は改善

○ GOVリテイリング ジーユー事業好調により営業黒字達成

ジーユー事業 「990円シリーズ」を中心に売上好調

下期の既存店売上は大幅な増収

靴事業 ビュー事業： 売上・利益とも若干の計画未達

フットパーク事業： 計画通り閉店進行中

○ キャビン アパレル業界不振の影響で営業赤字

単位：億円

		2008年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	
					前期比	直近予想比
国内関連事業	売上高	494	510	515	+4.2%	+1.0%
	営業損益 (売上比)	▲ 28	▲ 15	▲ 5	-	-
		-	-	-	-	-

11

次に国内関連事業ですが、ジーユー事業が好調により、営業赤字は前期の28億円から5億円と大きく改善いたしました。

ジーユー事業は3月に「990円ジーンズ」を発売以降、売上は大幅に拡大し、その後も「990円シリーズ」などの低価格商品を次々と切れ目なく展開したことで、既存店売上は大幅な増収となりました。また、採算も改善したことから、GOVリテイリングは営業黒字を達成いたしました。

靴事業については、婦人靴のビュー事業では売上、利益とも若干の計画未達となっております。また、フットパーク事業の閉店は計画通り進んでおります。

なお、9月16日より「ユニクロシューズ」の展開を始めており、好調な売れ行きとなっております。

キャビンはファッションアパレル業界の不振の影響を受け、既存店売上高の前年割れが続き2009年8月期では営業赤字となっております。

欧米での消費環境悪化により大幅減益

- セオリー事業 下期より連結を開始
売上高 227億円、営業利益 4億円
- コントワー・デ・コトニエ事業 既存店売上高は前年割れで減益
- プリンセス タム・タム事業 卸売販売の不振により減益

単位：億円

		2008年8月期		2009年8月期		
		通期実績	直近予想 (7/9修正)	通期実績	前期比	直近予想比
グローバルブランド事業	売上高	437	530	555	+27.0%	+4.9%
	営業損益 (売上比)	77 17.7%	26 4.9%	36 6.6%	▲52.8% ▲11.1p	+41.0% +1.7p

※ プリンセス タム・タム事業の2008年8月期実績には、決算期変更により、2007年7～8月の売上高約27億円、営業利益約6億円が含まれています。

※ セオリー事業の売上高の連結に際し、リンク・セオリー・ホールディングスの売上高の控除項目である百貨店に対する歩率家賃を売上高に足し戻し、同額を賃借料として計上しております。

12

グローバルブランド事業につきましては、セオリー事業を新規連結したことから、売上高は555億円と増収となりましたが、営業利益は欧米での消費環境の悪化により36億円と前年比で大幅な減益となりました。

セオリー事業は、下期より連結を開始したことにより、売上高227億円、営業利益4億円が連結されております。

コントワー・デ・コトニエ事業は、欧州での消費環境の悪化が続いていることにより、既存店売上高の前年割れが続き、減益となっております。

プリンセス タム・タム事業については、卸売販売が不振となっていることから減益となっております。

特別損失 ▲62億円

- **減損損失 ▲22億円**
(キャビンにおけるのれん減損 17億円など)
- **事業整理損失引当金繰入額 ▲15億円**
(フットパーク事業の閉店関連引当)
- **事務所移転費用 ▲10億円**
(フランス、東京での本部移転にかかる費用など)
- **固定資産除却損 ▲8億円**
(店舗閉店に伴うもの、国内ユニクロ、セオリー事業、GOVなど)
- **店舗閉店損失 ▲4億円**
(店舗閉店に伴うもの、国内ユニクロ、GOV、キャビンなど)

2009年8月期における特別損失は62億円計上しております。

主な内訳としては、キャビンにおけるのれんを17億円減損したことなどから減損損失が22億円、フットパーク事業の閉店関連引当として事業整理損失引当金繰入額が15億円、エファール・フランス社や東京本部の移転にかかる費用などで事務所移転費用10億円、店舗閉店に伴い主に国内ユニクロやセオリー事業、GOVなどで発生した固定資産除却損8億円、同じく店舗閉店に伴うもので国内ユニクロやGOV、キャビンなどで発生した店舗閉店損失4億円となっております。

フットパーク事業の閉店にかかる損失は、事業整理損失引当金繰入額、固定資産除却損、店舗閉店損失で合計17億円計上しております。

単位：億円

	2008年8月末	2009年8月末	増 減
総資産	4,047	4,632	+585
流動資産	2,636	2,981	+344
固定資産	1,410	1,651	+240
負債	1,407	2,018	+611
純資産	2,640	2,614	▲26

14

次に連結のバランスシートのご説明をさせていただきます。

2008年8月末との比較では、
流動資産が344億円増加し、固定資産が240億円増加した結果、
全体の総資産は585億円増加して4,632億円となりました。

詳細については、次のスライドでご説明いたします。

【連結】B/Sのポイント (2008年8月末比較)

現金・預金及び有価証券の増加 ▲4億円 (1,701億円 ⇒ 1,697億円)

【FR】リンク社の買収 ▲192億円 【国内ユニクロ事業】営業CFの増加

たな卸資産の増加 +208億円 (537億円 ⇒ 745億円)

【国内ユニクロ事業】8月末残高 491億 (08/8月末比) +129億円
(前期末比)冬物商品の倉庫在庫増 +70億円、店舗増 +30億円、
コア商品の店頭在庫増 +30億円

有形固定資産の増加 +56億円 (403億円 ⇒ 459億円)

リンク社新規連結に伴う影響 +41億円 リース資産計上の影響 +23億円

有利子負債の増加 +133億円 (194億円 ⇒ 328億円)

リンク社新規連結に伴う影響 +156億円

為替予約勘定(資産)の減少 ▲474億円 (資産66億円⇒負債408億円)

【国内ユニクロ事業】円高の進行に伴うもの。損益への影響は無し

15

流動資産ですが、現預金及び有価証券の合計額は1,697億円と、前期末比で4億円減少いたしました。これは、リンク・セオリー・ホールディングス社のM&Aに伴う支出192億円などによるものです。

たな卸資産は745億円と、前期末比では208億円増加しております。

国内ユニクロ事業の8月末の在庫は491億円と2008年8月末比では129億円増加しております。これは、冬物商品の発注の早期化を計ったことから、倉庫在庫が約70億円増加したこと、店舗数が増えたことにより約30億円増加したこと、コア商品を中心に店頭在庫を積みましたことにより約30億円増加したことによります。

たな卸資産につきましては、従来に引き続き商品の発注や在庫のコントロールの精度を向上させ、在庫水準の効率化を図りたいと考えております。

有形固定資産は、前期末比で56億円増加しております。

リンク社の新規連結に伴う影響が41億円、リースに係る会計基準が変更されたことによる影響などで、23億円となっております。また、為替が前期末に比べて円高に推移していることから、海外子会社の固定資産が若干減少しております。

有利子負債については133億円増えておりますが、これは主にリンク社の新規連結に伴う影響です。有利子負債につきましては、財務の安定性を維持しながら、適切にコントロールして行きます。

なお、為替予約勘定が前期末比474億円減少しております。これは円高の進行に伴うもので、ヘッジ会計を適用していることから損益への影響はございません。今後も、会社の策定する財務戦略に基づき、調達レート安定化を目指します。

【連結】 2010年8月期 業績予想

営業利益 1,200億円(前期比+10.5%)を予想

	2009年8月期 通期実績	2010年8月期	
		通期予想	前期比
売上高 (売上比)	6,850 100.0%	7,980 100.0%	+16.5%
売上総利益 (売上比)	3,415 49.9%	4,010 50.3%	+17.4% +0.4p
販管費 (売上比)	2,328 34.0%	2,810 35.2%	+20.7% +1.2p
営業利益 (売上比)	1,086 15.9%	1,200 15.0%	+10.5% ▲0.9p
経常利益 (売上比)	1,013 14.8%	1,150 14.4%	+13.5% ▲0.4p
当期純利益 (売上比)	497 7.3%	620 7.8%	+24.5% +0.5p

単位：億円

2010年8月期予想：設備投資額 290億円、減価償却費 110億円
 2009年8月期実績：設備投資額 226億円、減価償却費 97億円

16

ここからは、2010年8月期の業績予想についてご説明します。

売上高は7,980億円、前期比16.5%増、

営業利益は1,200億円、前期比10.5%増、

経常利益は1,150億円、前期比13.5%増、

当期純利益は620億円、前期比24.5%増を予想しております。

2010年8月期 グループ事業別 業績予想

単位：億円

		2009年8月期	2010年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比
国内ユニクロ事業	売上高	5,381	5,950	+10.6%
	営業損益 (売上比)	1,107 20.6%	1,200 20.2%	+8.3% ▲0.4p
海外ユニクロ事業	売上高	377	650	+72.0%
	営業損益 (売上比)	16 4.3%	45 6.9%	+177.8% +2.6p
国内関連事業	売上高	515	500	▲2.9%
	営業損益 (売上比)	▲5 -	3 0.6%	- -
グローバルブランド事業	売上高	555	850	+52.9%
	営業損益 (売上比)	36 6.6%	45 5.3%	+22.7% ▲1.3p

※ のれん償却額 2010年8月期予想 75億円 2009年8月期実績 64億円

※ 2010年8月期 予想為替レート

1USD= 90.0円 1EUR=130.0円 1GBP=140.0円 1RMB=13.00円 100KRW= 7.5円

17

通期のグループ事業別業績につきましてはご覧のとおりです。

増収増益を維持

単位：億円

	2009年8月期	2010年8月期	
	通期実績	通期予想	前期比
売上高 (売上比)	5,381 100.0%	5,950 100.0%	+10.6%
売上総利益 (売上比)	2,590 48.1%	2,872 48.3%	+10.9% +0.2p
販管費 (売上比)	1,482 27.6%	1,672 28.1%	+12.8% +0.5p
営業利益 (売上比)	1,107 20.6%	1,200 20.2%	+8.3% ▲0.4p

まず、国内ユニクロ事業ですが、売上高は5,950億円、前期比10.6%増、営業利益は1,200億円、前期比8.3%増と、増収増益を見込んでいます。

【国内ユニクロ事業】 業績予想の前提

	2009年8月期		2010年8月期		
	実績		予想		
				前期比	
売上高	5,381	億円	5,950	億円	+10.6%
既存店伸び率(通期)	+11.3%		+3.0%		▲8.3p
上期	+12.9%		+5.4%		▲7.5p
下期	+9.3%		+0.0%		▲9.3p
店舗数純増(通期)	10店舗		34店舗		+24店舗
上期	6店舗		16店舗		+10店舗
下期	4店舗		18店舗		+14店舗
売上高総利益率(通期)	48.1%		48.3%		+0.2p
上期	48.5%		48.5%		±0.0p
下期	47.7%		48.0%		+0.3p
売上高販管費率(通期)	27.6%		28.1%		+0.5p
上期	25.3%		25.5%		+0.2p
下期	30.3%		31.4%		+1.1p

19

国内ユニクロ事業の業績予想の前提をご説明いたします。

既存店売上高の伸び率は、売上が好調だった9月度の売上を加味し、上期プラス5.4%、下期プラスマイナス0%、通期3.0%のプラスを予想しております。

店舗数は、上期で16店舗の純増、下期で18店舗の純増を見込んでおり、通期では34店舗の純増となるものと見込んでおります。

なお、このうち大型店の出店は上期11店舗、下期14店舗、通期では25店舗の出店となる見込みです。

都心部の路面や百貨店などの好立地を含む大型店の出店を加速し、期末の大型店は96店舗となる見込みです。

売上高総利益率は、上期は前年同期比横ばいの48.5%、下期は0.3ポイント改善の48.0%、通期では48.3%と前期に比べて0.2ポイントの改善を見込んでおります。これは、前期の第4四半期において夏物処分を早めたことにより粗利益率が低下したことから、今期の下期については改善が図れると考えたものです。

売上高販管費率は上期は前年同期比0.2ポイント上昇して25.5%、下期は1.1ポイント上昇して31.4%を予想し、通期では0.5ポイント上昇の28.1%を見込んでおります。前期に比べて販管費率が上昇しておりますが、前期は売上が大きく上ぶれたことによるものであり、2010年8月期の水準は適正なものと考えております。

アジア地区が成長エンジンとなり大幅増益

- アジア（店舗数 09/8月末 76店舗 ⇒ 10/8月末予 132店舗）
 - 中国・香港 出店加速、グローバル旗艦店を2010年春に出店
 - 韓国 既存店好調で収益性高まる
 - シンガポール 12月に大型店を出店予定
- 欧米（店舗数 09/8月末 16店舗 ⇒ 10/8月末予 16店舗）
 - 米国 NYグローバル旗艦店の増収により増益
 - 英国 既存店の増収により黒字を目指す
 - フランス パリ グローバル旗艦店好調
 - ロシア 2010年春にロシア1号店をモスクワに出店

		2009年8月期		2010年8月期		単位: 億円
		通期実績	通期予想	前期比		
海外ユニクロ事業	売上高	377	650	+72.0%		20
	営業損益	16	45	+177.8%		
	(売上比)	4.3%	6.9%	+2.6p		

次に、海外ユニクロ事業の通期予想ですが、売上高650億円、前期比72.0%増、営業利益は45億円と大幅な増収増益を予想しております。

成長エンジンとなるのはアジア地区で、店舗数も前期末の76店舗から132店舗へと、大きく増やす計画です。内訳としては中国の出店が一番多く29店舗の増、次に韓国の24店舗増の順となっております。

中国では、出店を加速することに加えて、既存店売上高も好調であることから収益性が高まる見込みです。なお、2010年春にはグローバル旗艦店を上海にオープンする予定です。

韓国でも既存店売上高は好調に推移する見込みです。

また、シンガポールでは12月に大型店を出店する予定です。

米国ユニクロは、ニューヨークのグローバル旗艦店の増収により増益を見込んでおります。

英国ユニクロは、オックスフォードストリートのグローバル旗艦店や既存店の増収により、営業利益段階で黒字を目指します。

フランスは、10月1日にオープンしたパリのグローバル旗艦店が非常に好調に推移しておりますが、2010年8月期は広告宣伝費などのオープンコストにより赤字となる予定です。

なおロシアについては、2010年春、モスクワに1号店をオープンする予定です。

好調なジーユー事業が寄与し、営業黒字

○ GOVリテイリング ジュー事業は増益の見込み

ジーユー事業 「990円シリーズ」を中心に大幅な既存店売上増続く
50店の出店予定、売上は倍増、採算改善の見込み

靴事業 ユニクロシューズは拡大、フットパークは閉店セールの影響で上期は前年同期比で赤字幅拡大

○ キャビン 収益改善進め黒字の見込み

		2009年8月期		2010年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比	
国内関連事業	売上高	515	500	▲2.9%	
	営業損益 (売上比)	▲5	3 0.6%	-	

単位：億円

21

国内関連事業ですが、好調なジーユー事業の寄与により、売上高は500億円、営業利益は3億円の黒字を見込んでおります。

GOVリテイリングにつきましては、好調なジーユー事業の貢献により、増益となる見込みです。

ジーユー事業は、「990円シリーズ」が好調で、高い既存店伸び率が続くこと、50店舗の出店を予定しており、採算は大幅に改善する見込みです。

一方、靴事業につきましては、この秋よりユニクロシューズの販売を開始し、春夏にはさらに型数を増やし、事業を拡大する予定です。

なお、閉店を進めているフットパークにつきましては、閉店セールの影響で上期は前年同期で赤字幅が拡大する見込です。

キャビンは引き続き主カブランドへの集中、素材の調達を集約させるなどの効率化を図ることにより採算を改善させ、営業利益段階で黒字となる見込みです。

セオリー事業連結により増収増益

- セオリー事業
今期から通期での連結を開始。消費低迷の影響が続き、既存店売上は前年並み、営業利益は通期で微増の見込み
- コントワー・デ・コトニエ事業
欧州の消費環境は厳しく、営業利益は横ばいの予想
- プリンセス タム・タム事業
欧州の消費環境は厳しく、営業利益は横ばいの予想

		2009年8月期		2010年8月期	
		通期実績	通期予想	前期比	
グローバルブランド事業	売上高	555	850	+52.9%	
	営業損益 (売上比)	36 6.6%	45 5.3%	+22.7% ▲1.3p	

単位：億円

※ セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業の売上高の連結に際し、売上高の控除項目である歩率家賃を売上高に足し戻し、同額を賃借料として計上しております。

22

次にグローバルブランド事業ですが、セオリーの連結子会社化により、売上高、営業利益ともに増収増益の見込みです。

セオリー事業は、消費低迷の影響が影響が続くことから、米国と日本の既存店売上高を前年並みと見込んでおり、通期の営業利益は微増を予想しております。

コントワー・デ・コトニエ事業は欧州の厳しい消費環境が続くものと予想していることから、営業利益は横ばいとなる見込みです。

プリンセス タム・タム事業も欧州の厳しい消費環境が続くものと予想しているため、営業利益は横ばいの予想となっております。

コントワー・デ・コトニエ、プリンセス タムタムの両事業につきましては、欧州の厳しい消費環境が続くものと予想していることから、営業利益は両社とも横ばいとなる見込みです。両社は現状を踏まえた上で効率化を図り、業績の改善を進めてまいりたいと考えております。

【配当金】

2009年8月期 年間配当金 160円を見込
2010年8月期 年間配当金 200円を予定

	配当金額(1株当り通期)		
	中間	期末	通期
2008年8月期	65円	65円	130円
2009年8月期 ^{※1}	75円	85円	160円
2010年8月期(予) ^{※2}	100円	100円	200円

※1 2009年8月期末配当金は、2009年11月9日開催予定の当社取締役会での決議を前提としています。

※2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金額を変更することがあります。

最後に、年間配当金についてご説明させていただきます。2009年8月期の期末配当金は1株あたり85円とし、年間で160円、前期に比べて30円の増配とさせて頂く予定です。

2010年8月期の配当金につきましては、中間配当金100円、期末配当金100円を合わせまして、年間配当金は200円と前期に比べて40円の増配を予定しております。

また、ご参考資料として、連結、及び国内ユニクロ事業の2010年8月期中間業績予想、ならびに、出退店の一覧表を添付しておりますので、ご参照ください。

以上で、私からのご説明を終わります。

ありがとうございました。

【連結】2010年8月期 中間業績予想

単位：億円

	2009年8月期 中間実績	2010年8月期	
		中間予想	前年同期比
売上高 (売上比)	3,574 100.0%	4,375 100.0%	+22.4%
売上総利益 (売上比)	1,780 49.8%	2,200 50.3%	+23.6% (+0.5p)
販管費 (売上比)	1,081 30.3%	1,415 32.3%	+30.8% (+2.0p)
営業利益 (売上比)	698 19.5%	785 17.9%	+12.4% (▲1.6p)
経常利益 (売上比)	631 17.7%	760 17.4%	+20.3% (▲0.3p)
当期利益 (売上比)	355 9.9%	425 9.7%	+19.5% (▲0.2p)



<ご参考>

【国内ユニクロ事業】2010年8月期 中間業績予想

単位：億円

	2009年8月期	2010年8月期	
	中間実績	中間予想	前年同期比
売上高 (売上比)	2,962 100.0%	3,330 100.0%	+12.4%
売上総利益 (売上比)	1,437 48.5%	1,615 48.5%	+12.3% +0.0p
販管費 (売上比)	749 25.3%	850 25.5%	+13.4% +0.2p
営業利益 (売上比)	688 23.2%	765 23.0%	+11.1% ▲0.2p

※ 株式会社ユニクロの数値を表示しています。

連結対象会社別出退店 実績・予想

【単位:店舗】	08年8月	2009年8月期				2010年8月期			
	実績 期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業合計	813	95	46	+49	862	119	29	+90	952
国内ユニクロ事業:	759	56	45	+11	770	60	26	+34	804
直営店	740	55	45	+10	750	60	26	+34	784
大型店	50	21	0	+21	71	25	0	+25	96
標準店等	678	34	33	+1	679	35	26	+9	688
専門店	12	0	12	▲12	0	0	0	0	0
FC	19	1	0	+1	20	0	0	0	20
海外ユニクロ事業:	54	39	1	+38	92	59	3	+56	148
中国(除く香港)	13	20	0	+20	33	30	1	+29	62
香港	8	3	0	+3	11	2	0	+2	13
韓国	18	12	0	+12	30	24	0	+24	54
シンガポール	0	2	0	2	2	1	0	+1	3
英国	13	2	1	+1	14	0	2	▲2	12
米国	1	0	0	0	1	0	0	0	1
フランス	1	0	0	0	1	1	0	1	2
ロシア	-	0	0	0	0	1	0	1	1
GOVリテイリング	457	31	137	▲106	351	52	191	▲139	212
ジーユー事業	58	23	9	+14	72	50	3	+47	119
靴事業	399	8	128	▲120	279	2	188	▲186	93
キャビン	190	39	24	+15	205	22	13	+9	214
リンク・セオリー・ホールディングス	-	9	20	▲11	221	14	9	+5	226
コントワー・デ・コトニエ事業	348	26	6	+20	368	27	1	+26	394
プリンセス タム・タム事業	150	17	1	+16	166	1	7	▲6	160
総 合 計	1,958	217	234	▲17	2,173	235	250	▲15	2,158